

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後 平成 21 年 5 月 19 日 作成
 20年度決算把握後 平成 21 年 5 月 20 日 作成

事務事業名		北バイ取付1、2号線改良事業			<input type="checkbox"/> マニフェスト 関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断 課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革 プラン関連
総合 計画 体系	政策	1	人々が安全に安心して暮らせるまちづくり		所属部	都市建設部	課長名 上原哲也
	施策	5	道路ネットワークの充実		所属課	建設課	担当者名 歌野 雅文
	基本事業	13	計画的な道路の整備		所属班	工務班	(内線) 2275
					法令根拠		

予算科目	会計	1	款	8	項	2	目	3	事業連番	10079	<input type="checkbox"/> 20年度で終了	<input type="checkbox"/> 21年度から開始	成果優先度評価結果	-	コスト削減優先度評価結果	-
事業期間	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ		<input type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度		年度)		<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (17 ~ 22		年度)					

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】
 本事業は、平成19年度北バイパス本線の供用開始に伴い、取付道として市が市道認定し用地買収、補償をおこなう事業である。施行延長L=220m。なお、工事の施工は国土交通省がおこなう。
【業務の内容】主な業務の内容は次のとおり
 17年度～①地域より要望を受け、②現状の把握により必要性の検討、②国土交通省との事前協議、③測量設計業務、関係機関との協議、④市道認定、⑤地権者への事業説明
 18年度～①土地鑑定業務委託、②買収単価協議③税務署への事前協議、④地権者との境界立会、⑤用地交渉、⑥契約、登記、代金支払い
 20年度～①用地交渉 ②契約 登記 代金支払い
 1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標			
① 手段(主な活動)	21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN)		
20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO)	関係機関協議、測量設計、積算、工事発注、現場監督、中間・竣工検査、支払		
用地交渉		⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位)	
		ア 施工延長	m
		イ 用地買収面積	m
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	北バイ取付1・2号線	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位)	
		ア 全体延長	m
		イ 本線全用地買収面積	m
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	安全に快適に移動できる。	⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位)	
		ア 整備率	%
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか)	適切に管理されて安全に通行できる。	⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位)	
		ア 整備率延長/計画延長×100	%

(2) 総事業費・指標等の推移											
		単位	18年度 実績(決算)	19年度 実績(決算)	20年度 目標(当初予算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	22年度 (目標)	23年度 (予定)	全体計画 17 ~ 22 年度	
投入量	事業費	国庫支出金	千円							総 トータル コスト (期間 限定 複数 年度 のみ 記載) 10 410 1,632 33,026	
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円	24,860	4,960						29,820
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	一般財源	千円	1,309	265					1,574		
	(A) 事業費計	千円	26,169	5,225	0	0	0	0	31,394		
	うち指定経費	千円									
	ひら時間外、特殊勤務手当	千円		6							
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	7	2	2		10
	延べ業務時間	時間	60	50	100	224	100	100	410		
	(B)人件費計	千円	238	199	398	892	398	398	1,632		
	トータルコスト(A)+(B)	千円	26,407	5,424	398	892	398	398	33,026		
	活動指標	ア m	0	40	40		40		40		
		イ m	441	83	83		83		524		
	対象指標	ア m	220	220	220		220		220		
		イ m	639	639	639		639		639		
	成果指標	ア %	0	18	18	18	100		18		
		イ %									
	上位成果指標	ア %	15	23	23		23		23		
		イ %									

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等
 ① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？
 北バイパス本線開通計画に伴い地元要望を受け、必要性検討の結果、平成17年度より事業開始となった。
 ② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？
 事業開始時期は道路復員も狭小で砂利道であり、利用者の安全な通行に支障を来している。今後は用地の取得により拡幅、舗装等の整備がおこなわれ、利用者の安心、安全な通行が期待できる。
 ③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？
 地域住民や道路利用者から拡幅、舗装の要望がある。

事務事業名	北バイ取付1、2号線改良事業	所属部	都市建設部	所属課	建設課
-------	----------------	-----	-------	-----	-----

2 評価の部(SEE) *原則は20年度の事後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ 道路整備後は北バイパス本線の取り付け道として位置づけており、地域住民をはじめ道路利用者の安心、安全な通行を図ることにより、利用者の満足度が向上する。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ 本路線は市道に認定しており、舗装整備をおこない安全で快適な通行を図ることは市の義務であるため妥当である。
	③対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ 本道路整備は、道路利用者において必要不可欠な事業であり、施行後は北バイパス本線の取り付け道として、地域住民をはじめ道路利用者の安心、安全な通行を図ることができるため、対象、意図とも妥当である。
有効性 評価	④成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↷ 事業の完成により成果が向上するため、向上余地がある。
	⑤廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↷ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↷ 道路整備を廃止・休止すれば、北バイパス本線の取り付け道が復員が狭小な砂利道のままとなり、周辺地域住民や道路利用者の快適な移動が損なわれるため影響がある。
	⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ 本路線整備については、国交省をはじめ関係機関と協議を重ね、既に最適な施行方法により連携をおこなっており、これ以上の連携はできない。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】↷
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 用地買収の単価や測量設計についても、コスト縮減に努め経済比較を行いながら決定しており削減の余地はない。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 本事業は補償鑑定や測量設計は外部に委託し業務時間を削減しており、その他の業務は必要最小限度内において職員を分担しているため削減余地はない。
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ 地域住民はもとより一般通行者の利用もあることから、公正であると判断できる。

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)												
<table border="0"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td><input type="checkbox"/> 適切</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	② 有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>道路整備を廃止・休止すれば、北バイパス本線の取り付け道が復員が狭小な砂利道のままとなり、周辺地域住民や道路利用者の快適な移動が損なわれるため影響がある。</p>
① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり											
② 有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり											
③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり											
④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり											

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持					低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持																						
	低下																						

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	1	(直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9)
(2) 貢献度	4	(貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12)